

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日： 2023年 12月 15日

事業所名：みらいスポーツ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	生活の流れや成長に伴う活動の変化に応じた配置換えを適宜行っている。	概ね良い。	引き続き活動に適した環境整備に努める。
	2 職員の適切な配置	活動の内容に応じた職員の配置を行っている。個別課題に対応する職員数は課題がある。	良い、わからない。 何人が適切なかわからない。	安心と安全を守る職員配置を検討する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	全体の構造化と個に応じた配慮の両立を図っている。	概ね良い。	活動しやすい、構造的な環境整備に努める。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	整理された空間と子供たちの活力や居場所としての安心感を満たす生活空間のあり方を模索している。	概ね良い。	引き続きよりよい生活空間を検討し改善していく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日午前中に法人内事業所合同のミーティングと活動前のパート職員を含めたミーティングで支援の方法や注意事項を検討、共有している。		引き続きミーティングでの情報共有と対応の検討を行う。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	外部評価は活用できていない。		全社的取り組みとして検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	不定期に職員の勉強会を実施している。外部研修を職員に広報し、参加した後の伝達研修を行っている。		知識や経験の共有を図り、職員全体の資質の向上に取り組む。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	初回契約時と支援計画書更新時、または随時に面談を行っている。	良い。	引き続き利用者のニーズに合わせた支援計画の作成に励む。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	計画書作成時および日々の支援内容の検討時に集団活動と個別の課題を両方立てている。		今後の放課後等デイサービスの在り方に合わせた支援内容を検討する。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの放課後の過ごし方に沿った項目で支援内容を考えている。		同上

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画および特別支援計画に沿った日々の支援内容を計画し実施している。	概ね良い	日々の支援内容を精査する。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員間でプログラム内容や支援のポイント、注意事項等相談して運営している。		情報共有と多様な視点を取り入れる観点から、引き続き職員間で相談して運営を行う。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	サービス提供時間の違いに応じた活動の提案や利用者同士の関係づくり等を検討、実施している。学校ごとに時程が異なることを将来の余暇の過ごし方につながるよう支援を考えている。	概ね良い。	今後コロナ禍で控えた行事の再開を検討する。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	利用者のリクエストを募ったり、他事業所の企画を参考にしている。曜日ごとに大まかな活動のテーマがあるが、不定期にテーマ外の活動を行っている。		引き続きマンネリ化を防ぐ手立てを検討する。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	常勤職員は午前中、パート職員は支援開始前の定時に活動内容や利用者の様子、支援方法等を共有している。		共有や確認を引き続き行うとともに、視点が固定化しないよう留意する。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎後と翌日のミーティングで共有している。		引き続き支援の振り返りを行い、共有する。
	10 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	定められた事項を記載した記録を行い保管している。当日送迎後や翌日のミーティングで支援方法や前後関係の検証などを行っている。		引き続き支援の振り返りを行い、共有する。
11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3か月時のモニタリングと6か月時の見直しを職員の会議または会議録を回覧して共有している。		適切な時期の見直しを行う。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者が出席している。		引き続き関係事業所等との連携に努める。
	2 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当しない。		
	3 <b>(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)</b> 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当しない。		
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	実績として小学3年生以上の受け入れを行っており、該当しない。		今後必要に応じて情報共有を図る。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者を通じて活動の様子や経過について情報提供を行っている。		引き続き情報提供に努める。
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員への研修案内を行っている。		研修や連携の機会を積極的に活用するとともに、専門機関についての理解を深める。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現状、施設としては実施していない。公園遊びの際に地域児童との交流は必要に応じて支援している。	わからない、ない。	現状、特別な交流は考えていないが、地域移行に向けて職員間の交流は必要と考えている。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現状、実施していない。	わからない、ない。	現状、特別な交流は考えていない。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明を行っているが、各種加算や上限額管理について明快に説明ができていないのはわからない。	良い。	契約や報酬改定等の際の丁寧な説明、また不明な点の問い合わせに丁寧に対応していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	個別支援計画の作成・更新時に原案を作成し相談している。	良い。	書面を示す以外にもわかりやすい説明を検討する。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	プログラムとして実施していない。	良い、わからない。	保護者の対応力向上の観点を面談等の際に取り入れる。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や電話、送迎時のお話で日々の様子をお伝えしている。	良い。	引き続き日々の様子の共有を行う。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	児童一人一人の課題や目標、現状の共有、職員の対応力向上が引き続き課題と考えている。	良い。	研修や事例検討を通して職員全体の対応力向上を図る。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現状、実施できていない。来年度以降、実施を検討している。	わからない、ない。	今後の実施に向けて内容や方法を検討する。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご連絡をいただいた際に職員間で共有し、また統括責任者とも連携して対応を協議している。	良い、わからない。	今後も真摯に対応する。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	ご家庭の事情に応じた対応を心がけている。	良い。	意思疎通の配慮やより良い方法の検討を続ける。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月、活動の様子と次月の予定をお便りでお伝えしている。また随時企画のお知らせを行っている。	良い。	引き続きお便りで発信する。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人ファイルを鍵付き書庫で保管している。職員間での情報共有を図りつつ他児等に不用意に個人情報が伝わらないよう留意している。	良い、わからない。	引き続き適切に保管、取り扱いを行う。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルの作成と時期に応じた研修を行っている。	良い、わからない。	今後も定期的に研修や確認を行い、マニュアルがあるだけにならないようにする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、職員の研修と利用者が参加しての避難訓練を実施している。	良い、わからない。	定期的な避難訓練の継続と非常災害の発生への備えを行う。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年2回の研修をパート職員含め全従業員に実施している。また対応に迷う事例をミーティングで検討し、虐待的対応を行わないことを職員間で共有している。		研修だけで終わらず、職員間のコミュニケーションを密にする。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	虐待防止と合わせての研修を行っている。また随時適切な対応をミーティングで検討している。		引き続き研修や事例検討を行う。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	現状、該当しない(対応が必要な提供食材がない)。		必要に応じて対応を検討する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	怪我の有無にかかわらずヒヤリハットを作成し、法人内で共有している。		ヒヤリハット発生時だけでなく、類似の行事前のリスク把握に活用する。